

福島第一原子力発電所 2号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果<1/2>

参考値

(データ集約 : 6/11)

採取場所	2号機原子炉建屋上部① (ブローアウトパネル中央西向)		2号機原子炉建屋上部② (ブローアウトパネル中央北向)		2号機原子炉建屋上部③ (ブローアウトパネル中央西向)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成24年6月5日 8時55分～10時55分		平成24年6月5日 8時55分～10時55分		平成24年6月5日 11時12分～13時12分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	
Cs-134 (約2年)	1.7E-05	0.01	ND	-	6.4E-06	0.00	2E-03
Cs-137 (約30年)	2.2E-05	0.01	ND	-	7.2E-06	0.00	3E-03

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10<sup>-○</sup>と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約2E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約6E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約7E-6Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状のI-131が約2E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約3E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約4E-6Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 2号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果<2/2>

参考値

(データ集約：6/11)

採取場所	2号機原子炉建屋上部④ (ブローアウトパネル中央北向)						②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成24年6月5日 11時12分～13時12分						
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-					
Cs-134 (約2年)	2.1E-05	0.01					2E-03
Cs-137 (約30年)	3.0E-05	0.01					3E-03

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10<sup>-○</sup>と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約2E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約6E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約7E-6Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状のI-131が約2E-6Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。